

本マニュアルでは、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行っていただく事」を示しています。

注意 人身事故や重大事故を防止するため、下記の事項を必ず確認してください。

- ・悪天候の下や、足元が不安定な状態での取付け作業は行わないでください。
- ・取付け作業は、作業現場周囲の安全を確保の上、本書に説明した取付け方法に準拠して行ってください。
- ・梱包箱に同梱されている 取扱いの手引き は、お施主様（本品をご使用される方）に確実にお渡し下さい。

本製品の明細は以下の通りです。

シャッター本体、壁スイッチ、化粧プレート、標準接続コード（電源線5m、信号線5m）
取付部品セット（コードホルダー、上り止めピース×2個、結束バンド×2個）
電気工事マニュアル、お取扱いの手引き、本体取付マニュアル

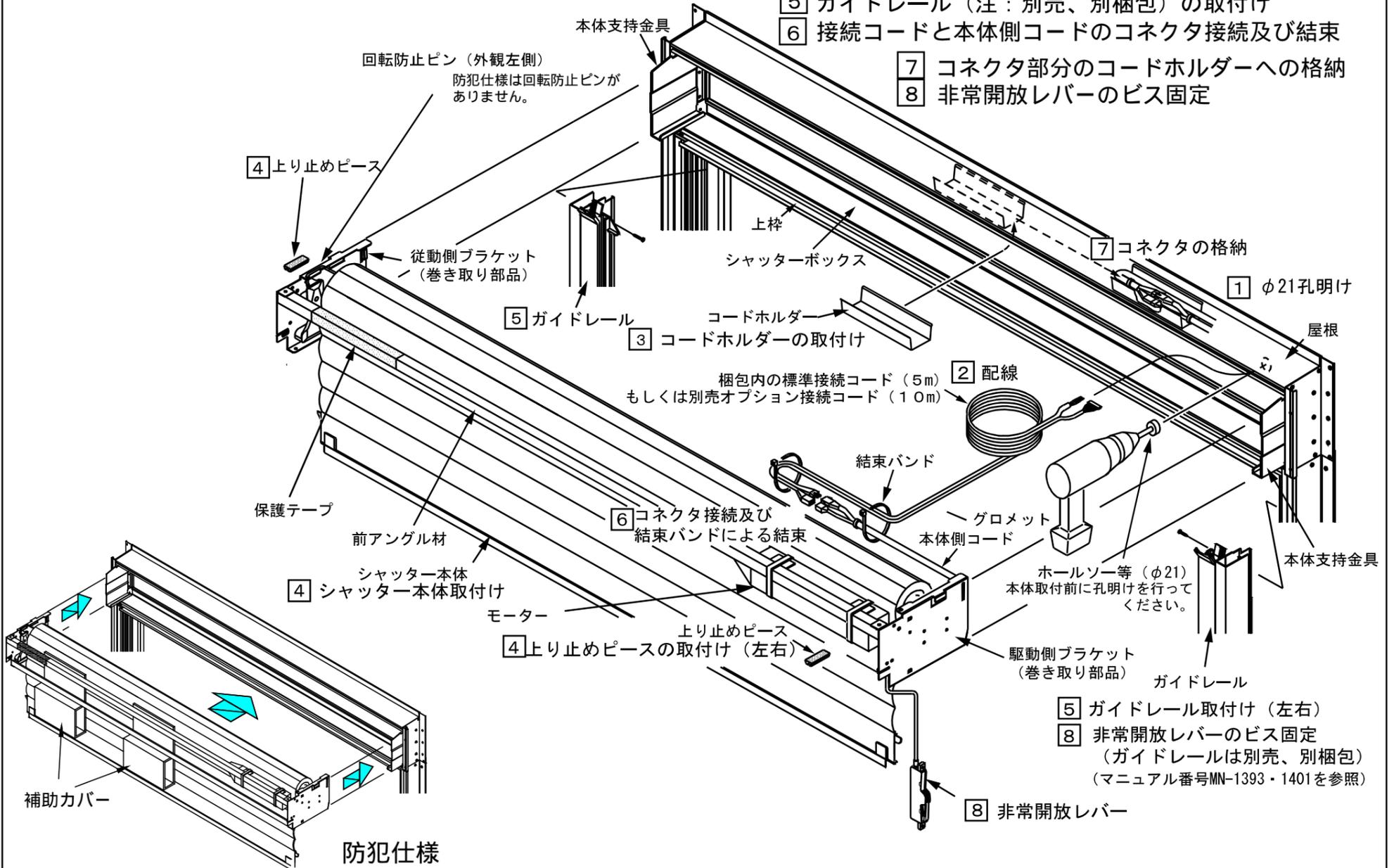
その他の梱包

ガイドレール ボックスカバー 枠 障子 網戸
赤外線リモコン増設ユニット（別売オプション） 接続コード10m（別売オプション）

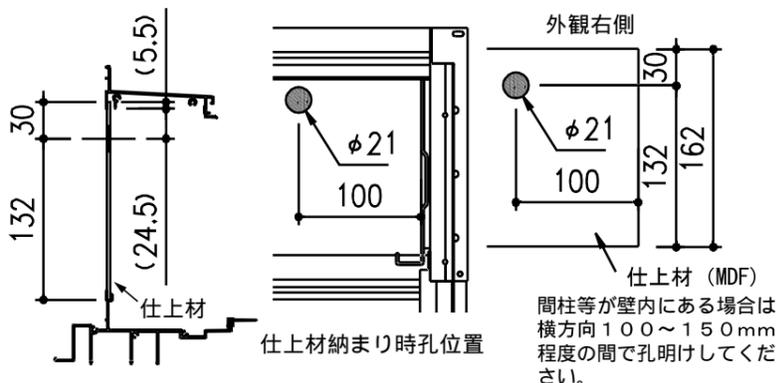
取付け手順概要（各手順の詳細説明は別途）

- お願い** 各手順の詳細説明を必ずご確認の上作業してください。
- お願い** 別売オプションの接続コード10mをご使用になる場合は、シャッター本体取付け前にご用意ください。
- 注意** 不具合の原因になりますので接続コード（信号線側）は継ぎ足さないで下さい。

- 1 シャッターボックス内の仕上材（MDF）への孔明け（φ21）
- 2 接続コードの配線（接続コードは電源線と信号線の2本のコードを配線します）
- 3 コードホルダーの取付け
- 4 スチール電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取付け
- 5 ガイドレール（注：別売、別梱包）の取付け
- 6 接続コードと本体側コードのネクタ接続及び結束
- 7 コネクタ部分のコードホルダーへの格納
- 8 非常開放レバーのビス固定



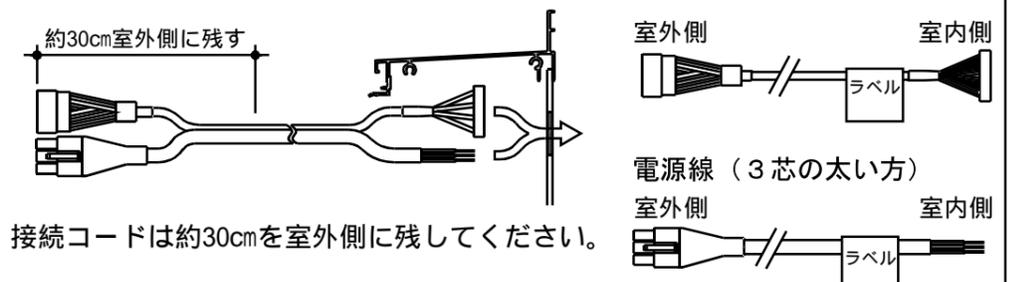
手順1：シャッターボックス内の仕上げ材（MDF）への孔明け
シャッターボックス内の仕上材に、下図に示す位置に 21の孔を明けてください。



お願い 孔明けはホールソー等を使用してきれいに明けてください。きれいな丸円の明かない工具での孔明けはお止めください。

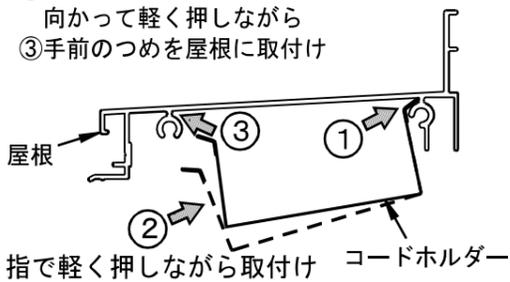
手順2：配線（電源線と信号線の2本を配線します）

手順1で明けた孔に、接続コードを室外側から室内側に向かってコネクタ部分から孔に挿入して行きます。



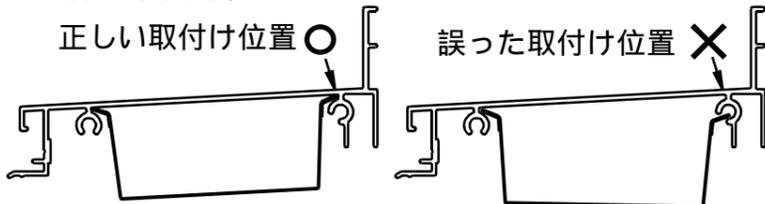
手順3: コードホルダーの取付け

- ①奥のつめを屋根にセット
- ②コードホルダーを指で軽く室内側に向かって軽く押しながら
- ③手前のつめを屋根に取付け



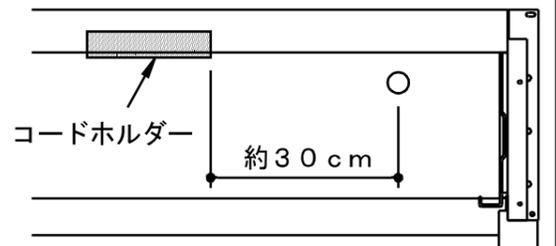
注意 コードホルダーの奥のつめは正しい位置に取付けしてください。

誤った位置に取り付けられますと、コードホルダーが脱落し、不具合の原因となります。



嵌め合わせが弱い時は、コードホルダーを手で広げてください。

取付け後、コードホルダーをスライドさせて、接続コードの通し孔から約30cmのところに取付けしておく、後の作業がしやすいです。



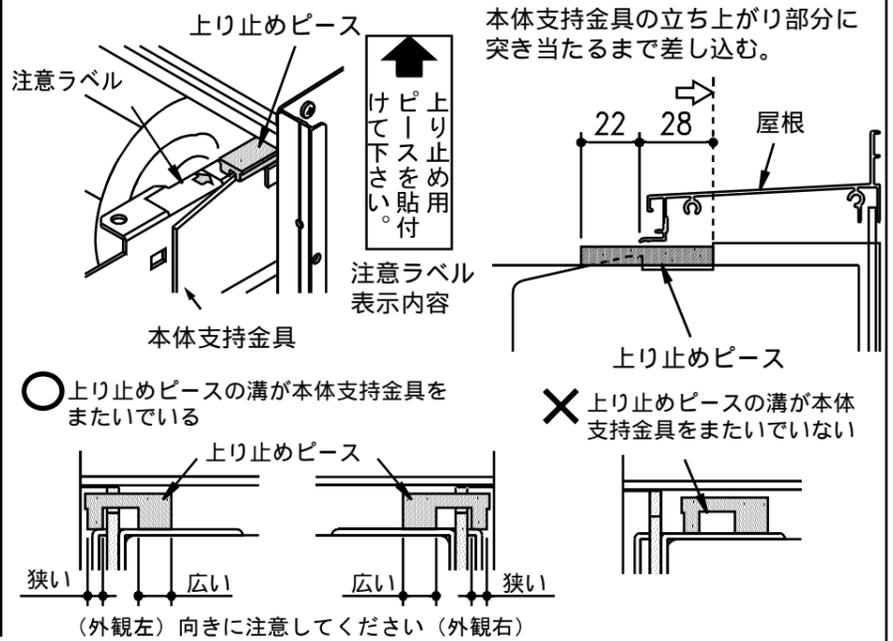
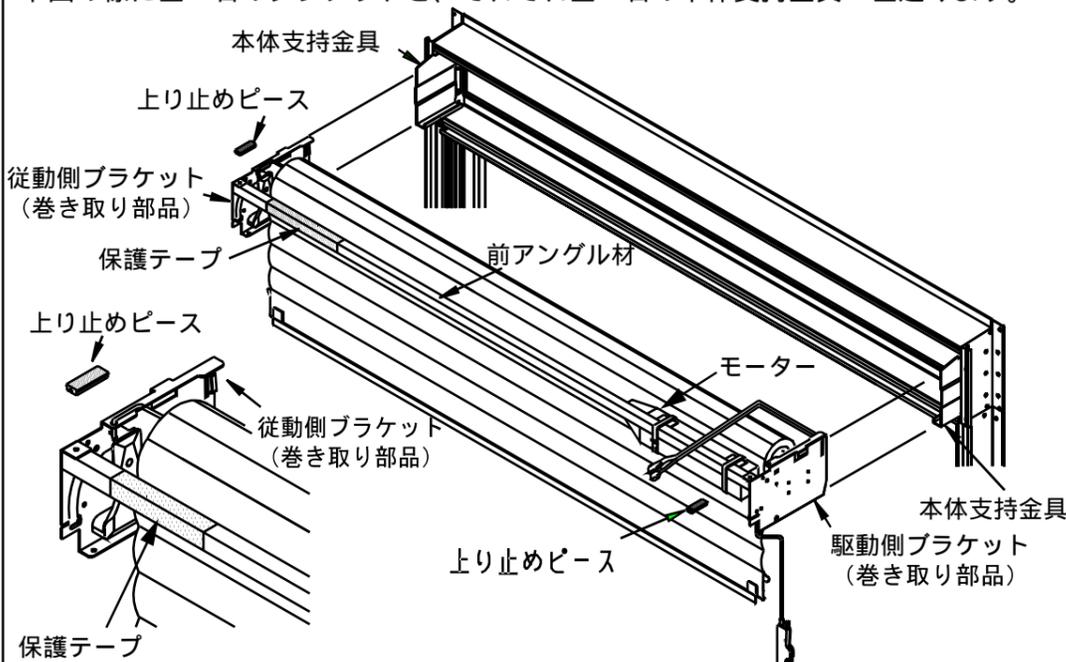
手順4: 電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取り付け

注意

シャッター本体の前アングル材の両端部を持ち、開梱作業及び取付け作業を行います。(前アングル材は必ず保護テープ部とモーター部のみを持って下さい。中央部付近を持つとアングル材が変形します) 下図の様に左・右のブラケットを、それぞれ左・右の本体支持金具へ差込みます。

開梱作業及び取付け作業は、必ず2人以上で行ってください。

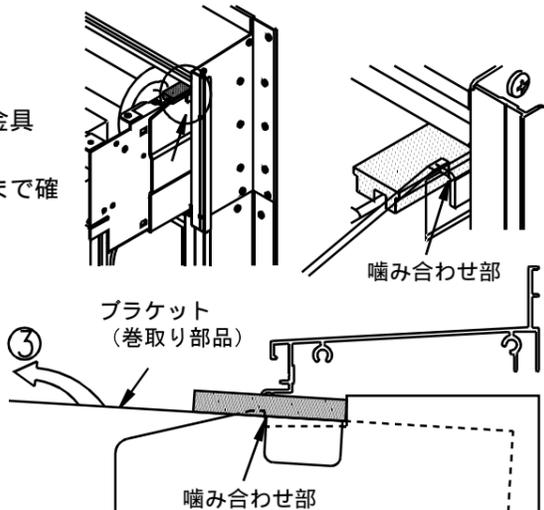
本体取付け後に、上り止めピースを左右巻き取り部品と屋根との隙間に取付けます。上り止めピースの離型紙をはがし、溝が本体支持金具をまたぐようにして、奥に突き当たるまで差し込みます。(目安として屋根の先端部から上り止めピースの先端まで22mm)



お願い 本体取付け後に以下の確認を必ず行ってください。(右図)

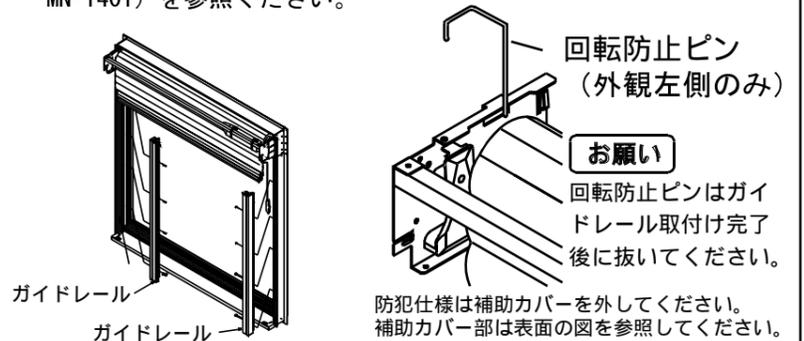
本体支持金具の上端切り欠き部とブラケットの金具上端突起部が噛み合っていること。上り止めピースが本体支持金具をまたいで、奥まで確実に差し込まれていること。

- ③ブラケット(巻取り部品)の前方部分を持ってシャッター本体を持ち上げて外そうとしても、本体支持金具との噛み合わせ部分を乗り越えられずに外せないこと。



手順5: ガイドレールの取付け

ガイドレールを取付けて回転防止ピンを抜いて下さい。ガイドレールの取付け方法は、ガイドレール梱包内の組立施工マニュアル(マニュアル番号MN-1393 防犯スチール電動は MN-1401)を参照ください。

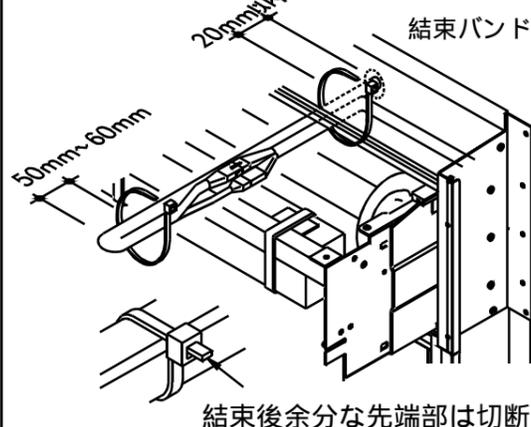
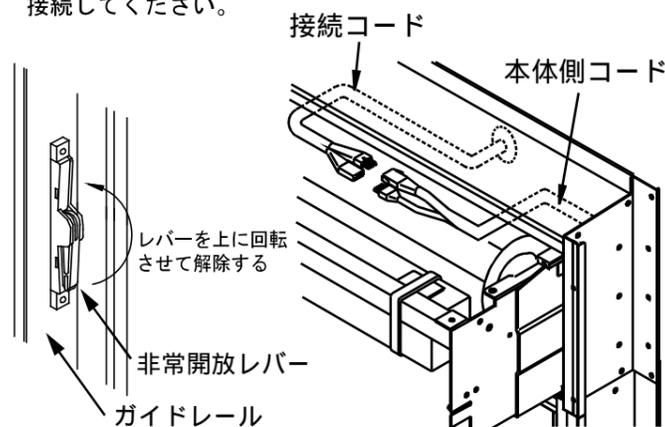


手順6: 接続コードと本体側のコネクタ接続及び結束バンドによる結束

- ①非常開放レバーを解除して、手動でゆっくりとシャッターを下降させてコネクタを接続できる作業スペースを確保します。
- ②本体側コードと接続コードのコネクタを接続してください。

接続コードと本体側コードをまとめて付属の結束バンドにて下図の2箇所を結束します。結束後余分な結束バンドの先端部は切断してください。

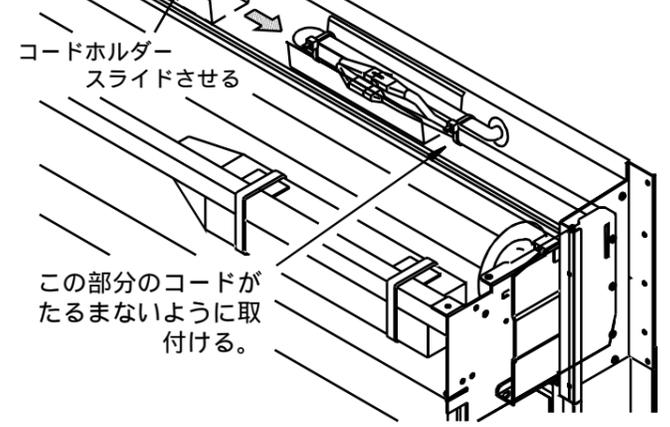
お願い 接続コードが躯体に入り込めようにしっかりと結束してください。



お願い コネクタのつめ部がしっかりと噛み合うように接続してください。

手順7: コネクタ部分のコードホルダーへの格納

手順3で取付けておいたコードホルダーをスライドさせてコネクタ部分を収めます。



お願い 手順8: 非常開放レバーのビス固定を、ガイドレール組立て施工マニュアルMN-1383を参照し、行って下さい。

以上で本体取付けが完了です。ボックスカバー、壁スイッチを取付けて仮設電源にて作動確認(初期設定)を行ってください。
 ※ボックスカバーの取付け方法はシェルムーン5型 ボックスカバー取付けマニュアル(マニュアル番号MN-1288)を参照してください。
 ※作動確認(初期設定)の方法は、シェルムーン5型アルミ電動タイプ 電気工事マニュアル(マニュアル番号MN-1388)を参照してください。